

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25.5～28℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり107kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3.1トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり200kgの水揚げ。北松生月地区では、トビウオなどが1日1統当たり1.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり261kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり81kgの水揚げで、前週の69%（前年を上回った）。西彼野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- ヒウカ船曳――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり402kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/14～9/19）6日間、沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 5日延46隻入港、総計7,881箱、1航海最高509箱、平均171.3箱、ケンサキ（2立～4立入）。

〔お知らせ〕

漁海況通信「長崎県周辺海域の海面水温（9月号）」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>